

東日本大震災 NPO法人 ゆずりは学園 5年目に入る震災支援

2013 [3年目]

- 1/19 ●大根、ミニトマト 福島市仮設住宅
- 2/16 ●ブロッコリー8箱 南相馬市仮設住宅
- 2/18 ●雑巾300枚 宮城県亘理町荒浜小学校
- 3/12 ●宮城県亘理町仮設・福島県避難仮設
- 4/9 ●野菜 宮城県亘理町
- 5/16 ●手作り玉ねぎ9箱、ヘビーコーン1箱、手作り味噌2箱 福島仮設住宅
- 6/4 ●レタス1800個(188箱) 福島仮設住宅、宮城県(雄勝町、女川町、亘理町)
- 8/17 ●ゴーヤ 福島仮設住宅
- 8/25 ●玉ねぎ、そうめん(長仙寺・医王寺・九聖院より) 福島仮設住宅
- 10/22 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 11/30 ●冬用スバツ、靴下8,000足 福島仮設住宅24箇所
- 12/6 ●みかん12箱 福島仮設住宅5ヶ所



2014 [4年目]

- 1/13 ●衣類 宮城仮設住宅
- 2/16 ●野菜 福島仮設住宅
- 3/15・16 ●田原の道の駅さんの協力でキャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米900キロ、その他の野菜、果物130ケース 仮設住宅(宮城、岩手、福島)
- 4/23 ●布生地 福島仮設住宅
- 5/1 ●甘夏みかん 仮設住宅(宮城、福島)
- 5/10 ●夏みかん、タマネギ 福島仮設住宅
- 6/9～12 ●宮城、福島へ訪問支援(野菜、おもちゃ)
- 6/21 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 7/9 ●ドライフルーツ 福島仮設住宅
- 8/18 ●そうめん段ボール5箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 9/25 ●夏野菜 福島蓬萊若枝幼稚園
- 10/25 ●甘柿 福島蓬萊若枝幼稚園
- 11/21 ●キャベツ100個 福島仮設住宅
- 12/4 ●みかん段ボール(各)10箱 福島仮設住宅、福島さくらみなみ保育園



2015 [活動報告]

- 1/ 6 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 2/24 ●ふわふわソックス 福島仮設住宅
- 3/15 ●【支援物資】 ○キャベツ 530ケース ○ブロッコリー 60ケース
○その他野菜・果物 90ケース ○お米 650kg
- 【支援金】 162,859円(運送・宅配代に使わせていただきます)
- 【支援先】 ①福島県福島市 蓬萊仮設住宅
他仮設住宅(約1,100世帯)
②福島県南相馬市 牛越仮設住宅(約350世帯)
③福島県南相馬市
北町保育所・つばは保育園・聖愛保育園・八沢幼稚園
④宮城県石巻市相野谷 飯野川校仮設住宅(約70世帯)
⑤宮城県石巻市雄勝町 立浜仮設住宅(約20世帯)
- 6/13 ●梅2箱 福島仮設住宅



「ただいま」のメールが入りました。マニラを15時20分に出発し、名古屋着20時25分着セブパシフィック5J5038便で青年達が帰ってきました。

今回のフィリピンダバオでの体験研修は、「日本では生きにくい」思いをしている青年達に、自分の本当の姿に向き合う時間を作ることから企画した研修旅行でした。電気も水道もガスもありません。英語です。セブアノ語です。ダバオ医科大学の協力でダバオとマリログ村での生活体験です。言語への不安も多くありましたが、でも現地で頑張ると出かけた青年達ゆずりは学園卒業生5人が帰ってきてゆずりは学園に集まりました。

一番驚いたことは「バイクの5人乗り」。ヘルメットも要らない、ハンドルに1人、運転手の後ろに2人、それでも何の注意もされない。「日本では絶対ダメだよ」バスの移動も大変だった。約60人くらいが乗っていて、すごいスピードで山から降りていくんだけど、汚れた人の多さにきつと日本では絶対乗らないけど、仕方ない。それも環境の中で自分で出来た事だと言います。ジープだと快適。トイレはタボと言って、みんな紙を使わない。この集まりの中で、自分はどうしてもの紙を使っただけ、どうだった?など聞いています。だって使い方なんか丁寧に聞けなかったから、でも下は水で、ビシビシだし、でも慣れると平気とみんな言います。雨が降ると、みんな急いで外に出て、雨をバケツなどに貯めると言います。お風呂も5日くらいに1度入る生活。でも気候の所為が、全然平気。シャワーインリンズが便利。水は計算して使わないといけないからね。スポーツ大好きメンバーはそれぞれチームを組んでサッカー・ナメントをやったそうです。朝食を開けて村の子供たちが起こしに来る。練習、遊び、練習、遊び、言葉

フィリピン、ダバオでの体験研修

電気、水道、ガスのない 38日間の生活からの帰国

「ゆずりは学園 ダバオ校の建設を

は要らない、ただ体で発する言葉、お互い分かった時はもうハイタッチして、それが本当に楽しかった。知らないことが恥ずかしいのではなくて、分かち合おうとする時間が充実していたと言います。

バスケット、サッカー、折り紙やピズと現地の子供たちと遊ぶ写真がいっぱいあります。どの写真も笑顔です。

この研修体験の中で何が変わったのかと聞いてみました。

「精神的に強くなったような気がする。我慢が出来なくなった。自分から話しかけるようになった。自分が含めば、挨拶。人の目が気になり、日本では挨拶はすくすく苦手だった自分が、自分から挨拶し、声をかけ行動するようになったと言っています。いつも周りの人が何を思っているのか、失敗するのが嫌で注意されるのが嫌で、1人で居る方が楽だった自分が、人と食事をするのも楽しく、人の目も気にならない、音も気にならない。だってみんなすごい音量で音楽を鳴らしているもの。

「あれ、電気はあるの?」という私の質問に、自分たちの集落の家には電気はないけど、集落の人々はソーラーの寄付で電気がつくようにになったと言っています。いつも音楽が流れているのは落ち着くし、近寄られても触られてもすごくいいと言っています。

その時、1人の青年が、「緊張がないんだ」と言いました。

私達がこのような生きにくい子供達、青年達に多く出会って、14年



ゆずりはの森から

第147号
2015年6月16日発行



NPO法人
ゆずりは学園

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 社会人

が経ちます。平成25年に自費出版した異空間のドアを開けた」のサブタイトルは「人にも風にも音にも緊張する人たち」です。発達障害の個性ゆえに苦しむ子供達、青年は多いです。でもこうしたたか38日間、見事に自分と向き合い、自分を取り戻し、出発する姿を見ました。

全国に70万人の引きこもりの人々がいます。12万人の不登校の子供達がいいます。海外とつながることで日本では出来なかつた分野での支援が出来ると思っています。フィリピンにゆずりは学園ダバオ校を建設したいと改めて思いました。海外の自然環境の中でずっと多くの子供達、青年が自分を取り戻し出発することが出来るようになると思います。

200万円
校舎が建ちます!

フィリピン ゆずりは学園ダバオ校 建設ご協力金のお願い

私共の活動にご賛同いただき、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

三菱東京UFJ銀行
(普) 田原支店
□座名義/ゆずりは学園
理事 岩名智彦
□座番号/3627714

自閉症・アスペルガー等の
「発達障害」の子を持つ親の会
ゆずりはの会 (163回)
○日時/7月10日(金) PM1:30~3:00
○場所/ゆずりは学園
(毎月第2金曜日 7/10・9/11・10/9)

ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/



お知らせ

お問い合わせ・連絡先